

太平中

想像力を生かそう！

～想像力のある人になろう 想像力あふれる学校にしよう 想像から行動にうつそう～

学校だより

令和7年11月11日
第493号
(令和7年度 第12号)

札幌市立太平中学校
北区太平8条2丁目
TEL 772-7961
FAX 772-5937



<https://www.taihei-j.sapporo-c.ed.jp/>

文部科学省

「全国学力・学習状況調査」の結果について

日頃より、本校の教育活動に対しまして御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、4月15日（火）と4月17日（木）に実施した全国学力・学習状況調査の結果について報告いたします。

調査の目的

- ① 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ② 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

調査結果は学校における継続的な改善サイクルに生かされています。

今年度の調査結果はすでに文部科学省より公表されており、本校生徒にも個人票として一人一人に通知されております。その結果をもとに、本校におきましても、生徒の学習状況や調査結果を分析し課題や改善方法についてまとめましたので、その内容をお知らせいたします。

なお、学校間の序列化や過度の競争を避ける意味から、札幌市では学力に関する具体的な数値結果は公表しておりません。学習状況調査につきましても、全国や北海道と比較した数値の公表は行いませんのでご了解ください。

本調査に関わるお問い合わせにつきましては、太平中学校教頭、または教務担当（田畑）まで御連絡ください。今後とも本校教育への御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

（太平中学校 TEL 772 - 7961）

【国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 □「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ・全国平均を下回っている。 □「話すこと・聞くこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 □「書くこと」 ・全国平均を下回っている。 □「読むこと」 ・全国平均を下回っている。	●事象や行為を表す語句について理解すること。 ●相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。 ●読み手の立場に立って表記を確かめ、文章を整えること。 ●文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えること。	○新しく出会った言葉について調べたことを記録したり、その語句を話や文章の中で使ったりする活動の充実。 ○聞き手の反応を踏まえて話の受け止め方や理解の状況を捉え、相手に分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す活動の充実。 ○伝えようとするものが伝わるかどうか、文字や表記が正しいか、漢字と仮名の使い分けや語句の選び方・使い方が適切かどうかを確かめながら自分の書いた文章を見直す活動の充実。 ○文章の構成や展開について自分の考えをまとめる際に、自分の考えを支える根拠となる段落や部分などを挙げる活動の充実。

【数 学】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 □「数と式」 ・全国平均と同程度であるが、やや上回っている。 □「図形」 ・全国平均と同程度であるが、やや下回っている。 □「関数」 ・全国平均を下回っている。 □「データの活用」 ・全国平均を下回っている。	●数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。 ●多角形の外角の意味を理解していること。 ●事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ること。 ●不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。	○数量を文字を用いた式に表すことができるようにする。 ○数量やその関係に着目して文字を用いた式に表したり、式の意味を読み取ったりすることができるようにする。 ○多角形の外角の意味を理解し、外角の大きさを求められるようにする。 ○多角形の角についての性質を考察し、説明できるようにする。 ○与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるようにする。 ○判断の理由を確率を用いて説明できるようにする。

【理 科】

今回の調査における課題

「粒子」を柱とする領域

- 物質は原子や分子からできていることを理解するとともに、物質を構成する原子の種類は記号で表されることを知ること。

「生命」を柱とする領域

- 消化や呼吸についての観察、実験などを行い、動物の体が必要な物質を取り入れ運搬している仕組みを観察、実験の結果などに関連付けて理解すること。また、不要となった物質を排出する仕組みがあることについて理解すること。

「地球」を柱とする領域

- 地層の様子やその構成物などから地層のでき方を考察し、重なり方や広がり方についての規則性を見いだして理解するとともに、地層とその中の化石を手掛かりとして過去の環境と地質年代を推定できることを理解すること。



改善の方向

- スポーツ飲料や洗剤等の成分表示の中に元素記号が記載されていることがあることに気付かせ、身の回りの生活の中で元素記号が使われていることを実感する活動の充実。

- 「呼吸を行う」、「光合成を行う」などの生物の共通点や相違点を挙げ、生命を維持する働きに関する知識を基に、それらの特徴から色々な生物について考察する学習場面の設定。

- 大地の変化に関する知識及び技能と過去に起きたと考えられる事象を関連付けて考察する学習場面の設定。

質問紙の解答に見られる太平中学生(3年生)の特徴

I. 全国と比べて、肯定的な回答が多いもの

質 問 内 容	
29 ④	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思いますか
44	国語の勉強は得意ですか
45	国語の勉強は好きですか
46	国語の授業の内容はよく分かりますか
48	国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこか伝えてくれますか
49	国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこか伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてください
61	理科の勉強は好きですか
62	理科の授業の内容はよく分かりますか

II. 全国と比べて、肯定的な回答が少ないもの

質 問 内 容	
17	将来の夢や目標を持っていますか
14	友達関係に満足していますか
32	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
33	1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
52	数学の勉強は得意ですか
53	数学の勉強は好きですか
54	数学の授業の内容はよく分かりますか
55	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
56	数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか
57	数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか
58	数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか
63	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

III. 太平中学生の特徴から

今回の調査は3年生に進級したばかりの4月段階での調査の結果・分析となります。すべての生徒に当てはまるものではありませんが、子どもたちの共通の傾向として捉えることもできると考え、指導につなげていきたいと思えます。

I(肯定的な回答が多いもの)の29④から、学びの質を高め、「学ぶ力」を育成することを目的にICTを効果的に活用してきた成果が表れてきています。今後も授業等でのICTの活用を推進していきたいと思えます。また、I(肯定的な回答が多いもの)の44・45・46・61・62とII(肯定的な回答が少ないもの)の52・53・54・55・56・57・63から、教科によって、学習の好き・嫌いや得意・不得意に差があることがわかりました。今回、調査を行った教科だけでなく、すべての教科において、苦手に対して分かるまで粘り強く学ぶことができるよう、今後もこれまで以上に学習指導の工夫・改善を図るとともに、一人一人を大切に学習支援を行ってきたいと思えます。

その他、家庭での学習時間が、全国と比べて短いことがわかりました。家庭学習習慣の確立に向けて、引き続き、ご家庭とも連携しながら考えていく必要があると感じています。

今回の調査・分析を生かし、生徒が充実した学校生活を送ることができるよう、教育活動のさらなる質の向上を図ってきたいと思えます。今後も保護者や地域の皆様の御協力と御協力をお願いいたします。